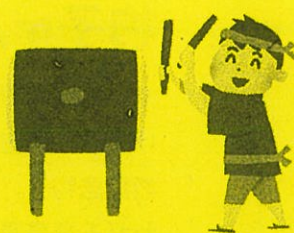




こまがた元気会だより



「よっか」の隣に「風の電話」誕生！

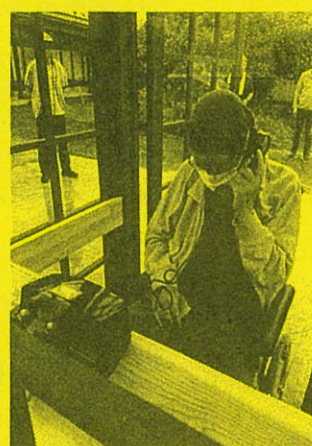
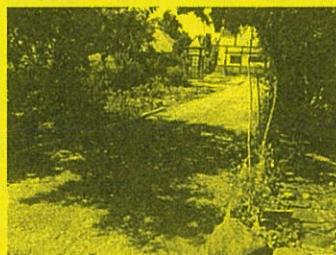
駒形げんき交流館「よっか」の西隣、辺見幸敏さん宅の敷地内に「風の電話」が完成し、6月21日

（日）にお披露目会がありました。亡き奥様とお話ししたいという辺見さんの想いを聞いたお仲間たちの手で制作されました。式には辺見さんも病を押して出席され、最初の電話使用者となりました。辺見さんは「風の電話」の完成を見届け7月11日にお亡くなりになりました。

「風の電話」の名称も考案者（岩手県大槌町の佐々木さん）に認定を受けて使用できるようになりました。日本国内では登録第1号です。電話ボックスには、辺見さんの雅号と想いが「空水庵」「風と癒しの交差点」と記されています。

風に乗せて想いを伝えたい皆様にぜひ使っていただきたいとの辺見さんの願いです。ご利用の方は敷地内の赤い電話ボックスまでお進みください。

こまがた元気会も隣人として「風の電話」の見守りと周辺環境整備にささやかにお役に立ちたいと考えておりますので皆様のご協力をお願いいたします。



ふるさと健康ウォーキング（狐堰コース）



が開催されました！

狐堰の600年余の流れを辿るウォーキングが7月13日（月）に行われました。駒形地区公民館、元気会、狐堰管理組合、雄国山麓ゆめクラブの協力による事業です。心配された雨も上がり、参加者は足取り軽くコースを歩き、最後に金川発電所を見学しました。



令和8年8月13日 発行：こまがた元気会

《連絡先》喜多方市塩川町竹屋丙 30-1（駒形げんき交流館）

電話 080-2805-1050（事務局：大平）

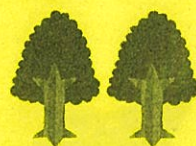
メール koma.genki7.7@gmail.com

《編集協力》NPO 法人かけはし 喜多方市塩川町小府根字曾谷田1イオンタウン塩川内



《公式HP》

杓子ヶ入のメグスリノキが県指定天然記念物に！



すでに新聞報道もありましたが、杓子ヶ入のメグスリノキが4月28日付で福島県指定天然記念物に指定されました（これまでは喜多方市指定天然記念物）。「メグスリノキは、カエデ属の種類が多く自生しているといわれる福島県内においても、また全国においても自生する個体数は少なく、生長が遅いことから巨木の報告例も少ない。本樹は目通り幹周4mを超え、樹齢350年と推定される。単幹樹としては県内はもちろん全国でも有数の巨木である」ことが評価されています。

元気会はメグスリノキ・巨樹巨木保全協議会と協力して、昨年度においては枯枝幹の切除措置を行い、国立研究開発法人森林研究・整備機構 森林総合研究所林木育種センターの支援をいただき後継樹育成の取組を始めたところです（本紙52号）。これからも地域の宝として大切にしたいと思います。



おしゃべりで元気に！「こまがた☆しゃべり場」がスタート

「お茶の間保健室」改め「こまがた☆しゃべり場」の第1回目が7月28日（火）に開催されました。おしゃべりは健康の源。参加者は楽しくおしゃべりしながら健康への関心を深めました。

これからも原則として毎月第4火曜日午前9時から開催しますのでお気軽に「よっか」にお立ち寄りください。エコバック作りなども行います。



南原堤の保全と活用を図ろう・・・ ビオトープの整備に向けて！

貴重な自然資源の宝庫である南原堤の保全と活用については、元気会と雄国山麓ゆめクラブが協力して取り組んでいますが、その一環として今年度より「ビオトープ」（水辺環境など多様な生物の生息する場）の整備を計画しています（本紙第54号）

■6月30日（火）には福島大学の塘忠顕（つつみただあき）教授にお出でいただき、堤内や一の沢などの水生昆虫の調査をしていただきました。

■7月11日（土）には、公益財団法人リバーフロント研究所等の主催による「小さな自然再生」現地研修会が開催され、ビオトープ整備に取り組んで（予定して）いる熱塩加納町鷺田地区、高郷町本村地区そして当地南原堤を参加者により見て歩き、植物、昆虫、河川工学等の専門家から今後の取組についてアドバイスをいただきました。

⇒このような調査・研修を踏まえて南原堤のビオトープ整備を進める予定です。



- ◎左上段：堤内での調査
- ◎右上段：一の沢での調査
- ◎左中段：熱塩加納町鷺田地区
- ◎右中段：高郷町本村地区
- ◎左下段：南原堤